

月刊 みんなねっと

9
2023



だれか来たかな？ チアキ

特集 訪問型の支援って
どんな支援をしているの？



公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会

～あなたの声をお寄せください～

家族・当事者のみなさまへ

- * あなたにとって「差別」とはどのようなことですか
 - * あなたにとって「虐待」とはどのようなことですか
- (実体験もお待ちしております)



みんなねっとでは国等の会議の場で、医療・福祉制度や施策をよくしていくためにさまざまな発言しています。みなさまから寄せられた大切なお声を、施策提言への参考とさせていただきたいと思います。

送付方法

メール desk@seishinhoken.jp

- お名前（匿名OKです）、診断名、年齢、お住まいの都道府県を入れてお送りください。

オンラインタイプの会員「WEB賛助会員」 (年度会費3,600円)募集のお知らせ

～従来の郵送版ではなく WEB 上から「月刊みんなねっと」を閲覧でき、
スマホやPC、タブレット等からいつでもアクセスOKです～

★申し込み方法★

1. 新規でお申し込み

みんなねっとのホームページにアクセス→右上の人のマークから個人IDを取得→賛助会員の申込み（オンラインタイプ）→会費納入確認後に閲覧開始となります。

2. すでに個別賛助会員の方でオンラインタイプへの切り替えをご希望の方

みんなねっとのホームページにアクセス→右上の人のマークから個人IDを取得→マイアカウントにログイン→マイアカウント内紫色の賛助会員ご入会済の方はこちらより詳細情報を入れて登録→マイアカウント内オンラインタイプへ変更をクリックから進む→完了→会費納入確認後に閲覧開始となります。

3. 家族会・複数賛助会員の方は事務局へご相談ください。

もくじ

2023年 9月号 通巻第198号



2 みんなのわ——読者のページ

6

特集

訪問型の支援ってどんな支援をしているの？

梁田英麿、松井洋子

-
- 14 多事彩々 泣き虫さん 野村忠良
- 16 みんなねっと相談室から(第53回)
母から逃れて医師になる
- 18 子ども・きょうだい・配偶者 家族いろいろ(その41)
家族のことを話そう
- 20 リレー連載「リカバリーをめぐる、対話のように」⑥
依存症に思いをはせて (対話)ふじなみさん・鮎奈さん
- 24 知りたい！聴きたい！こんなとりくみ(第30回)
「むげん」の可能性を信じて実践を重ねる
- 28 精神科薬剤師に聞く！ クスリの疑問 第3回
- 32 フレー！フレー！これからの家族会 第5回 福島・伊達精神障がい福祉会(福島県)
- 34 マンガ 私の七転び八起き 「未来へ」 あかつき
- 36 お知らせします みんなねっとの活動

読者のページ



「みんなねっと」の感想

◆秋田県 つくしの会工藤牧子
家族（70代）

2023年6月臨時増刊号を
早速、読みました。

当方は、5年ほど前に発足の、
7家族の小さな家族会です。

これまで3度ほど市の障がい
福祉計画のパブリックコメント

を提出した経験があります。提出した意見のすべてが『提言』に掲載されていて「私たちの願いは、みんなの願い」と本当に心強く思いました。

コロナ前は、県の保健福祉連合会の研修会や、地元の保健所の勉強会等に参加をし、現在は支援センターで、家族学習会も終え、みんなねっと誌を参考書にしたり、情報交換等を共有。おしゃべり中心の月例会を行っています。

当事者の本人たちは、みな、それぞれで、前進、後退、足踏みしながらも確かに歩んでいます。私たちの夢は家族や当事者、将来は地域の誰でも気軽に集える『居場所』作りです。メン

バーの多くが70代となり何かと動きが取れなくなってきましたが、親なきあと、本人たちが、地域で自分の望みに沿う形で生活ができるようにと、願いながらライフワークとなった家族会活動を、楽しみながら、続けていこうとあらためて思いました。

提言の作成、国への働きかけ等、本当に感謝しております。ありがとうございます。

◆京都府 匿名 家族（70代）

7月号の特集「なぜ暴力をふるってしまうのか」は、とてもありがたい内容で熟読しました。蔭山先生の「家族への暴力というSOS」は、心にしみました。

相沢さんの「イライラの積み重ねが……」は、よく理解できました。医師や、立場によって上から目線の口調に、傷つく心。一生懸命日常生活をしているのに、邪魔される悔しさなど「許してあげる」エネルギーが不足している自分に気づかせていただきました。

埼玉の「ある家族の声」は、心を打たれました。本当に共感。私自身のことを書かれているように、同じ流れでした。特にその中で「今から求めること」の最後の章に「医療機関は医療的ケアの他に、地域福祉機関とシツカリ連携して、本人が希望を持ちながら安心した地域生活が送れる手立てを、ぜひ取り入

れてほしい」のところは強く共感しました。

今年に入り私は地元で各支援者がつながり合って力量を学び合う二つの集いに参加しています。

医療機関の人や行政の人も参加して、自由に交流し、高めあっています。次回は上記の問題提起を必ず伝えます。貴重な内容をありがとうございます。

日常生活

◆鹿児島県 白石祥子 家族
(50代)

客観的に見られるようになって

娘は人と関わることで、それは家族であつても同じで今もあま

り変わりません。

しかし娘が小中学校の時、7歳上の兄である息子と、娘の関係性は変わらず、兄が結婚した時の娘のショックは大きかったです。

孫が生まれ叔母になった娘が1歳になるおいつ子との関係性の中で、テレビ電話で接する姿に愛情を感じています。

幼い頃からよく泣いていて、私自身、息子の方にばかり向いていたのです。

統合失調症の病気になり、夫婦ともに、この5・6年、少しずつ気づきもあり、来月で24歳になる娘が、私たちのなきあと、団地の中で孤立しないような生き方ができるように、医師、B

詩・その他

◆山梨県 羽田京子 本人（50代） イラスト



「みんなのわ」への投稿を募集しています



アドレス：desk@seishinhoken.jp

「みんなのわ」への投稿

(300～350字程度)をお寄せ下さい！

※漢字・かな遣い等、文字を修正させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

訪問型の支援って どんな支援をしているの？

医療機関からの訪問型支援について

東北福祉大学せんだんホスピタル

包括型地域生活支援室（S-ACI）室長

梁田英磨（やなたひでまろ）

はじめに

精神障害がある人々に対して、暮らしの応援となるサービ
スを「訪問」という形で提供す
る支援が増えてきています。

その中でも、近年では医療機
関からの訪問型支援が目立つよ
うになってきました。これが拡

大する機運は高まる一方で、地
域での医療的支援が依然として
少ないことに悩んでおられるご
家族からの期待は特に大きいよ
うに思います。

ここでは、医療行為の対価と
して保険医療機関などが受け取
る『診療報酬』を参考にしなが
ら、精神障害のある人に有効と

思われる訪問型支援について簡
単に触れてみましょう。

種類や内容

① 医療機関からの訪問型支援と
して最初に頭に思い浮かびや
すいのは、訪問看護でしょう
か？『診療報酬』で規定され
ている「精神科訪問看護・指
導」とは、保健師や看護師、
作業療法士や精神保健福祉士
らが利用者の居宅（自宅やグ
ループホームなど）を訪問し
て行う看護（療養上の世話ま
たは必要な診療の補助）のこ
とで、病気や障害があっても
住み慣れた地域や居宅で安心
して自立した生活ができるよ



梁田英磨さん

うに、行政や福祉などの関係機関とも連携をしながら利用者の生活全般（ご家族を含む）を支えようとするものです。なお、保険医療機関と連携する訪問看護ステーションからも、同様の「精神科訪問看護基本療養」を受けることができるようになっていきます。

②必要度によっては、医師によ

る「在宅患者訪問診療」を選ぶこともできるでしょう。これは、突発的に生じる利用者の急変に対応することを目的とした「往診」とは違い、利用者の病状の悪化を事前に防ぐことを目的としています。利用者の居宅に医師が計画的かつ定期的に訪問をして行う診療のことで、病状だけでなく生活全体の状況をお伺いしながら利用者やご家族の方などと一緒に再発防止に向けた適切な診療計画を立てていくこととなります。

③特に服薬に関してお困りの場合には、「在宅患者訪問薬剤管理指導」という選択肢もあります。これは、通院が困難

な利用者の居宅に薬剤師が訪問をして、薬剤の服薬状況や保管状況、残薬の有無などを確認し、その人に合わせた服薬指導や服薬支援を行うものです。

④実施している医療機関はまだ少ないものの、「精神科在宅患者支援管理」という支援があることを皆さんはご存知でしょうか？ ただし、この対象者は長期入院から退院したばかりの人や短期間に措置入院または医療保護入院を繰り返す人、ひきこもり状態または精神科の未受診・受診中断などにより行政機関の職員による家庭訪問の対象となっていて、精神科医が訪問をして

診療を行い、計画的な医学管理が必要と判断された人に限られています。このように生活の全般的機能が低い状態にある人であっても入院処遇ではなく、対象者の居宅に精神科医も含む多職種の医療従事者たちが一定期間積極的に訪問をして、24時間体制でその人の生活を支えようとする仕組みです。

⑤ 「精神科退院前訪問指導」もまた、医療による訪問型支援の一つとして捉えることができるでしょう。これは、入院患者の円滑な退院を目指し、入院中（外泊時など）に看護師や精神保健福祉士らが利用者の居宅などを訪問して、家

屋構造や周囲の介護力などを考慮しながら、退院後の療養生活につながる支援を行うものです。

⑥ この他にも、通所や通院が困難な状態の場合には、糖尿病食や腎臓病食などの特別食が必要だったり低栄養状態のために栄養管理が必要だったりする人のために管理栄養士が訪問して行う「在宅患者訪問栄養食事指導」や、利用者の運動機能や日常生活動作能力の維持・向上を目的として理学療法士や作業療法士などが訪問して行う「在宅患者訪問リハビリテーション指導管理」などを居宅で利用することができま

利用のしかた

このような訪問型支援を利用するためには、いずれも医師による指示が必要となりますので、ご関心のある方は利用予定者の担当医か、担当医が不在な場合には実施機関の窓口に直接ご相談されるのがよろしいでしょう。

他方で、医療従事者が自宅などに訪問をすることに對して、煩わしさや不安などを感じられることもあろうかと思えます。訪問による医療的介入であったとしても、暮らしの場面では、利用者を患者ではなく「生活者」として捉え、症状だけでなく利用者の「生活の全体状況」を見渡

し、「その人の意思を中心に据えた」関わりであることに変わりはないはずです。

ご利用にあたっては、「具体的にどんなことをしてくれるの?」「どれくらいの頻度で来てもらえるの?」「というような疑問点だけでなく、利用者側(主体)の懸念点がきちんと解消されるように、担当医や実施機関の方と一緒にしっかりとご検討されることをお勧めしたいと思います。

おわりに

ここでは医療機関からの訪問型支援について触れてきましたが、実際の現場では、目の前の

人の小さな声を大切にし、長い時間をかけてその人と寄り合ってみると、精神障害のある人の「生活のしづらさ」というものは、実は精神疾患だけが原因ではないことに気づかされます。

「幻聴が聴こえてくることや気分の浮き沈みだけではない」「周りのみんなは働いたり結婚したりしているのに……誰も友達になつてはくれないし、昔の仲間が連絡をくれることもない」「薬を飲んで、こうした私の気持ちも晴れる訳ではないし……」「むしろ薬を飲みはじめてから喉は乾くし、皆の前でも手が震えて恥ずかしい。最近では体重も増えてきた」「周りからは毎日しつこく『薬はちゃ

んと飲んだの?』って聞かれてしまうし……」など、「生活のしづらさ」とは百人百様で、複数の困難が複雑に絡み合っていることが浮き彫りになってくるのです。

精神障害のある人たちの暮らしのためには、医療的介入だけでは偏りがあって、心理的介入や社会的介入とのバランスが肝心であろうことにも最後に触れ、おわりにしたいと思います。



訪問支援（精神科訪問看護）を

利用した本人と家族の声

語り手… Aさん・母親（横浜市在住）

聞き手… 松井洋子（訪問看護ステーションみのり横浜・精神科認定看護師）

Aさん

50歳代女性

診断名 うつ病 不安障害

70歳代の母親との二人暮らし。

30歳のとき、父親が急死。以

来、自宅にこもりがちの生活。

抑うつ気分による意欲低下があ

り、不安や緊張が高まると母親

への依存が強くなる。7年前、

自宅で刃物を持ち出し、医療保

護入院。退院後に週3回の精神

科訪問看護導入となった。

訪問看護を始めた時の思い

Aさん ずっと、ひきこもって

いたのでそれを改善するため

に、少しでも人に会いたいと思

いました。訪問看護師さんが入

院中、病院に来てくれて、好き

なアーティストの動画を一緒に

観てうれしかったです。最初は、

知らない人が家に来て、お話し

することが不安でした。短い時

間から馴染んで、大丈夫になり

ました。SNSをしている時に怖くなって、発信を休んでいるとき「今日もできなかつたんですけど、大丈夫ですよね」と毎回、訪問看護で確認しました。何度も確認して「大丈夫」って言ってもらえると「これで、いいんだ」と思えました。

母 長い間、ひきこもって、人に会うことができませんでした。訪問看護が来てくれることで、人と話したり、行きたいところに行けるようになればいいと思っていました。

訪問看護を受けてみて

Aさん 近所に住んでいる友だちのお母さんがなくなると、外



松井洋子さん

出するのが怖くて、友だちに会いに行けるかどうか迷っていました。訪問看護で相談して、どうしたら行くことができるかを話し合いました。思いきって、友だちに会うことができず、ずっと渡せなかった「出産祝い」をやっと渡せました。あの時、赤ちゃんだった息子さんが中学生になっていて、びっくりしま

した。

母 訪問看護で、不安に思っていることを相談することで、行動につながっていききました。ひとつずつ力をいただいて、徐々に外出ができるようになり、ずっと行きたかったお父さんのお墓参りに一緒に行くことができました。

訪問看護開始2年目。Aさんは疲れを自覚しても、早めに対処行動をとることが難しく、急にエネルギーがなくなり、寝込む生活が続いていた。母親の「Aさんに休むように声をかけているが、言うこときいてくれない。どのように接したらいいか」という言葉から、家族内の「コミュ

ニケーションがうまく機能していないことがわかり、通常の訪問看護のオプショントして「メリデン版訪問家族支援」を導入することになった。

「メリデン版訪問家族支援」を開始したきっかけ

Aさん SNSで英国の友人とつながっていて、英国の家族支援（ファミリーワーク）には興味がありました。訪問看護師さんから紹介されてやってみたいと思いました。「家族まるごと」支援するというので「母も私も、みんなで健康になれたらいい」という気持ちでした。

当時、Aさんは母親には「休め、休めと言わず、だまって見守ってほしい」という思いがありました。自分の気持ちを言うことができませんでした。母親は「休んでほしいのに、なかなか言うことをきいてもらえない」という悩みがあり、お互いの本音が言えず、気持ちが悪く感じました。まずは「うれしい気持ち表現する」セッションを行い、気持ちを伝える練習を行いました。ロールプレイは照れくさそうでしたが「お母さんに気持ちを伝えることで、ささいなことでも「ありがとう」と言うことが増えました」という報告がありました。

その後、「明確に頼みごとを

する」セッションでAさんの本音を伝えることができました。母親の目標は「時間を気にせず月2回の外出を楽しみたい」でしたが、Aさんがさみしい思いをするといけないので、慌てて帰宅していました。「母親が外出するときみしいけど、母親にとってよい時間になるように、自分もできることを協力したい」と話し、母親の目標を応援することにしました。母親が外出しているときには、普段母親がいるとできないことをしように話し合いました。当日、Aさんはアクション映画を観て、母が帰宅するまで心配しないで過ごすことができました。

「メリデン版訪問家族支援」を受けてみて

Aさん メリデン版訪問家族支援は1回ごとに進め方があり、それに沿ってやっていくのが普段の訪問看護と違いました。やっているうちに、いろんな気づきがありました。特に「コミュニケーションスキルトレーニング」で、言いたいことを言うことで、お互いに仲良くやっていると、お互いに一緒に取り組むことができました。

母 今までは、遠慮して言えなかったことが言えるようになりました。お互いに我慢していただんだなと思いました。ステップに沿って、言いにくいことや、

嫌なことでも言ってみて、本人がどういう気持ちかを確認して、「こうすればいいんだ」って話し合い、改善できるといいですね。

Aさん お父さんが見守っている仏間で「お父さんだったら、どう言うかな？」って一緒に「家族ミーティング」をしました。お母さんの目標を応援できたことがうれしかったです。

母 私が出かけるのを嫌がるので、どうしたらいいかと思っていました。一緒に話し合い、準備ができて、安心して出かけられるようになりました。

Aさんと母親が協力し、互いの目標に向けて、行動できる

ようになったため「メリデン版訪問家族支援」は終了となりました。

最近の様子

現在、週2回の訪問看護を継続中。昨年、新しい家族（猫）を迎え入れました。猫のお世話はAさんが行っています。また、母親の体調を気遣い、家事を一緒に行っています。

Aさん 将来のことを無理に考えようとすると、しんどくなります。母が高齢になり、体調や生活を心配しています。

母 いろいろ、こだわっていたことも「今日はこれでおしまいにする」ことができるようにな

りました。「お互いに無理なきは無理」と言い合い、しんどい時は、一緒に休むようになっています。

Aさんが「新しい人とかかわること」で希望を取り戻していくプロセスは、私たちを勇気づけてくれました。精神科訪問看護の可能性を感じていただければ幸いです。





泣き虫さん

いつも我が家の庭で暮らしている猫のエンガが、昨日から姿を見せなくなつた。7年前に野良の母猫が庭に連れてきたので、小屋を作つてあげたのだが、すぐに大きくなり、優しい母猫がいなくなつてからは、代わりに筆者が大切にお世話をしてきた。

そういえば、昨日は隣家の庭で猫の激しく争う声が聞こえたのだが、狂暴なボス猫に無理難題を言われ、追ひ払われたのではないだろうか。心配は尽きない。

それから数日が過ぎても帰つてこない。台風が来て、激しい雨が降り続いていた日、悲しい想像ばかりが広がる。エンガは怖くて小屋に帰れず、身を寄せる場所もなくて途方に暮れ、お腹をすかせてさ迷っているのではないだろうか。もしかすると、もう二度と帰つてこないのかもしれない。



これまでの可愛らしかった思い出の場面が次々と心に浮かぶ。エンガを愛おしむ気持ち^{いと}が胸いっぱい^{いと}に広がり、こんなにも親しく思っていることに改めて気がついた。

そんなことを考えているうちに、しくしくとすすり泣きを始める筆者。自分でも驚いた。高齢の男性が、猫のことで泣いている。

ところが、いなくなつてから10日ほど経った日の朝、筆者が朝刊を取りにポストに行くと、エンガが出てきたのである！ どこにも怪我はなく元気そうで、いつものように自転車の下で餌をくれるのを待っている。

大きなお皿に解凍した魚を特別にどっさり盛って、ミルクも添えて足元にそつと置いてあげた。「心配したよ」と声をかけると、おいしそうに食べ始めた。

部屋に戻ると、筆者はうれしさのあまり、またしくしくと泣いていた。

(野村忠良)

《第 53 回》

母から逃れて
医師になる



ある若い男性からの相談でした。

◆お母様のつきまとい

お母様が10年前に精神疾患を
発症しました。

お母様はお父様と長いあいだ
仲が悪く、相談者につきまとい
て父親や親族に関する被害妄想
とも思われる話を聞いてもらっ
ていました。相談者はお母様が
可哀想と思えて、拒否すること
はありませんでした。そんな状
況のなかでも、相談者は一生懸
命に勉強して大学を卒業し、就
職もできました。

ところがお母様の相談者への
依存が次第に強くなり、就職先

に電話を頻繁にかけてくるよう
になりました。やめてほしいと
頼んでも、かけてきます。職場
にあまりに迷惑がかかる事態と
なり、とうとう会社を辞めまし
た。

相談者は実家を出てアパート
を借り、職探しをしましたがあ
定した職が見つからず、パート
勤務を始めました。そんな生活
を始めた矢先に、またお母様が
職場の電話番号を調べて何回も
かけてくるようになりました。
夜中にアパートを訪ねてきて、
大声でドアを開けるようにと叫
びます。

相談者が相談を求めてこられ
たのは、そのような状況にあっ
たときでした。

◆相談員の対応

相談者は、涙声になって混乱したお気持ちを訴えます。これまで、どこにも相談できなかつたと言います。

相談員が、お母様のことはお父様にお任せして、いちばん望んでいるご自分の生き方を実行なさってみてはいかがですか？と聞いてみました。お母様を助けなければというお気持ちは、しばらく棚上げにしてみても？とも伺ってみました。

相談者は、ぼつりぼつりとご自分の本当の気持ちから出てくる思いを言葉にしてくださいました。そして、本当は、精神科の医師になりたかった、とおつ

しやるのです。

相談員は、お母様からできるだけ離れた土地で、夢をかなえるための行動を始めてはどうでしょう？ そしてその準備に専念するために、今は心を鬼にして、お母様の接近を拒否しては？ と提案してみました。

◆後日の報告

翌年、相談員にうれしい報告がありました。遠く離れた地方の国立大学の医学部に、入学できたのだそうです。そして、さらにその数年後には、地方の病院でインターンをなさっているとの近況報告が届きました。

◆感想

相談者が、ご自分の本当の願いに気づき、それを実現なさる力をご自分にあると信じて一歩を踏み出すことができたことは、本当によかったと思います。お母様のお世話からは手を引かれましたが、相談者と接するたくさんの患者様にとってはありがたい決断でした。

相談員の母親にも精神障害がありましたので、お気持ちがとてもよくわかりました。

(野村忠良)



家族のことを話そう

岐阜市あけぼの会 熊谷久子

あれが幻聴だった？

「アパートの隣の人がうるさいから、家から通うわ」と言っている息子（現在44才）が名古屋のアパートから帰ってきたのは大学3年の夏でした。「あらーそれはいかんね。大家さんに言ったの？」と、その時はまさかそれが幻聴（今思うと）だとは思

もしませんでした。単位がギリギリでしたので就職活動もできず、教材営業の契約社員になりましたが、半年で「疲れる、疲れ」と言って退職し、新しい会社に入りました。

ある日、警察からの電話「息子さんがいじめられていると相談に来られていますがお母さん一度病院で診てもらって下さい」。近くのクリニックで睡眠薬と安定剤を飲んでいましたが「隣の家で女の人が泣いている」「犬の散歩をしていると皆が町から出ていけと言っている」夜中に外で「バカヤロー」と叫ぶ、などの行為があったため、岐阜病院に2ヶ月半入院しました。

保護室が落ち着く
環境だった

主治医によると普通は2日くらいで保護室を出るのが、息子は「ここは落ち着く」と言って2週間いました。こんな子は初めてだと主治医に言われました（笑）。入院中も小遣いは全く使わず、看護師さんが売店に誘っても行かなかったそうです。身長173cm・65キロだった体重が50キロに減りました。（安心してください、今は立派な110キロです。）退院時主治医に「規則正しい生活をした方がいいですか？ 朝も7時には起きた方がいいですか？」と聞きましたところ「起きてもするこ

とないしな」と言われ、(あー、寝かしておいてもいいんだ)と気が楽になりました。今の治療法は退院後すぐに社会復帰のプログラムが組まれるようです。

消耗期から就職活動へ

そのころ私は老人のグループホームの世話人をしていましたが、退院後は一人での留守番は心細かったのか、「何時に帰ってくる?」「ちよつと掛けてみただけ」などとよく電話を掛けてきました。

退院後、1年は寝たり起きたりしていましたが(TVは見ても焦点が定まっていません。好きな読書もなく、ただぼー

としていました)、新聞のアルバイトのチラシなどを見て面接に行くようになりました。冬の深夜の警備の時、コンビニの前で立っていたら若いアベックがホットコーヒーをくれた。嬉しかった。カレーが好きだからカレー屋さんに応募して、マニュアルが多すぎて説明だけで帰ってきたが、時給が振り込まれていた。大手スーパーの面接で、障がい者は雇ったことがないと断られた(20年前です)。

周囲の協力で資格取得!

家族会には岐阜病院の待合室においてあったパンフレットを見て、即入会しました。ちよう

どそんな時、家族会の会長さんが「第3あけぼの苑作業所」を立ち上げられ、息子を誘って行きました。そのうち近くの「第2あけぼの苑」に変わり、だんだん行かなくなりました。

私の所属している介護事業所がヘルパーの研修をすることに「行ってみたい」と言い、3か月かけて初任者研修資格を取得しました。事業所の皆さんには大変よくお世話をしていただきました。

現在は、週2回就労継続支援B型へ通所しています。

依存症に思いをはせて

(対話) ふじなみさん・鮎奈さん

《対話者のプロフィール》

ふじなみさん 看護師。病院に数年勤務し今は訪問看護。散歩とギターが趣味。(以下、ふ)

鮎奈さん 一般社団法人ヤングケアラー協会。病院に数年勤務し今はヤングケアラー協会。精神疾患の親をもつ子ども会こともびあ副代表。(以下、鮎)

鮎 私とふじなみさんは、もともと精神科の病院で一緒に看護師をしていました。今日は二人で依存症について思うことを話していきたいと思います。

ふ そもそも依存症ってどういうイメージ？

鮎 そのひとつのことがすごく大事になってるといふか、他のことで補えなくなるといふか、そんなイメージです。

ふ 僕はアルコール依存症の当事者で、僕のそれまでの依存症のイメージは、ダメな人っていうイメージだった。やめなきゃいけないのにやめられないダメな人(笑)。でも自分がそうだってわかってからは、わかっちゃいるけどやめれないっていう、ただそれだけで、ダメな人ではないんじゃないかって思うようになった。

鮎 たしかに、世間のアルコール依存症のイメージが根づいてる感じがありますよね。私も、もともと依存症ってそれによって困ってる人ってイメージで



た。生活が立ち行かないとか。けど、依存症を勉強したり見たり、父親のアルコール依存とか自分の依存の部分（学生のころスマホ依存だった）とか考えると、「それによって困ってる」って感覚はあんまりなくて、一般のイメージよりもっともつと幅広いんだなって思いました。ふ 一つは知識が見方を変えてくれること。あとは自分の行動の中で考えてみることに。その行為と人格は別で考えなきゃいけないっていうのも大事なのかなあと思って思う。



鮎 うんうん。知識は大事ですよ。ね。それで

いうと、世間一般のアルコール依存症の知識はだいたいネガティブに広がっちゃってる感じですよ。

自分の行動の中でっていうのは、自分が体験したことで考えてみるってことでしょうか？

ふ そうそう。自分の体験の中でっていう意味。病気じゃなくても、依存してるものってあたりするしね。

鮎 なるほどです。それでいうと、やっぱり依存する理由があるわけで。けどその人の理由とかよりも、依存症で起きる行為とか問題（仕事に行けない）とかが目立ったり、そっちばつかなんとかしようと思われがちですね。身近な人だと特にそう

なっちゃうかも……。

ふ そうそう。支援者だったり家族だったり、その渦中にあるとどうしてもその人を責めたくなっちゃう。その問題も含めて依存症なんだなあっていう理解も必要なんだろうね。

鮎 たしかに。自分がスマホ依存してた時はそれが唯一の安心材料だったし、逆にスマホさえあればなんでも大丈夫って片時も離さなかつたです（笑）。

お父さんのお酒は、そのまま寝ちやつたりして母からだらしないって言われて、父がうるせーんだよってぶちギレたりして、キレやすくなる印象でした（笑）。

ふじなみさんはお酒を飲んで



たとき、
どんな気
持ちでし
たか??

ふ お酒は最初は楽しかったけど、最後はやめたいってだけだったよね。やめ続けるイメージは全くできなかった(笑)。

鮎 やめたいって思いながら飲むのもつらそうなの……。

ふ そうだね。飲んでる時はいいんだけど、飲み終わって寝て、起きた時が特にやめたいなあって思ってたかなあ?

鮎 なるほどー。体がしんどいってことなんですかね。対処方法とかも、シラフの時に考えるのが大事ってあったなあ。

ふ あとはお金だよ。飲んで

でた時と今では全然違う。お金の不安ってずーっとあったからね。実際、自転車操業になつたし。

鮎 もうふじなみさんはやめて3年くらいですか? なんてやめられたのとか聞かれないですか?

ふ 今年の12月で5年(笑)。これすごいよね(笑)。それまで毎日飲み歩いてたのが止まった(笑)。奇跡でしょ(笑)。

何でやめられたかは正直に言うとうと自助グループに行つて、「これでやめれなかつたら終わりだな」って自分にプレッシャーをかけたのが大きいと思う。

鮎 一つの間にかそんなに経つてる! びつくり! やめ続け

るのがやっぱり難しそうないメージで……。1年目と5年目でもまた違いそうだけど。

自助グループに初めて行くのも、勇気が入りそうですもんね……。

ふ そうだね。止まったのはプレッシャーをかけて止まった。だから意思も重要なのかなあっていうのも思う。ただ、これを超えるのがやっぱ大変だね。飲み会に行かないことも重要だし。たまたま飲まない人と一緒にいたのも大きかったかもね。

鮎 もともとお酒を飲んでたから、つき合いとかも変わりますもんね。飲み会に関しては、お酒を飲めない私もアルコール勧められたりもするくらいだか

ら、飲める人はより勧められま
すよね。

ビールとレモンサワー頼むの
と同じように、ビールとオレン
ジジュースも変わらない気がす
るんですけど。飲める人からす
ると全然違うんですね……。

ふ そうそう。違うんだよ。
僕の場合は飲んでたから、余計
それがわかっちゃう。だから飲
みの場は行きたくないって思っ
ちゃったね(笑)。

鮎 飲みの場合もだし、コンビニ
に売ってるくらいだからお酒は
誘惑が多いと思います。自分一
人で飲みたくなったりした時はあ
りましたか??

ふ コンビニで買って飲みた
いってというのは少なかった気が

する。やっぱり飲み屋に行きた
いって感じだろうね、たしか。

鮎 やめ続けるのに何が役に立
つんだろうと思った時に、やっ
ぱり自助グループなのかな。

自助グループも世間のアル
コールのイメージみたいに、だ
いぶ行きづらいイメージがある
ような気もする……。

ふ 行きづらかったね、実際。
周りからの共感は助かるかも
ね。自助グループもいいけど。
家族とか友人とか。

鮎 なるほどー。身近な人ほど、
難しそう……。けど逆に行くこ
とを応援したりとかは、周りの
人もしやすそう。

私も子どもの立場の自助グ
ループのことを「宗教みたいな

のやつてるの?」って言われた
ことがありました(笑)。

ふ 行くことを応援するのは本
人も助かるかもね。宗教みたい
かあ(笑)。

アルコール自助グループで
は、そういう言葉も出ることも
あるから、そう思ったりもし
ちゃう。

鮎 もつといいイメージができ
てほしい(笑)。
子どもの立場の自助グループ
もそうだけど、苦労を知ってい
るからこそ相手の苦労を応援し
たいし、自分のためにもなる場
所って感じなのかなと思うん
ですよね。

ふ そうだね。応援したくなる
よね、不思議と。

知りたい！ 聴きたい！ こんなとくみ

第30回

「むげん」の可能性を 信じて実践を重ねる

特定非営利活動法人むげん
(富山県射水市)

理事長 門田 晋さん

メンバー 川口恵利さん

<https://mugentanada59.wixsite.com/website>

定年退職後に

地元でNPO立上げ

富山湾に面し、立山を東に仰ぐ富山県射水市。今回はこの地域で、障害があっても、年若いでも住み慣れた地域で当たり前に楽しく暮らしていけるようにと、当事者目線に立つて相談支援や就労支援などの活動を行っているNPO法人「むげん」さんにお話を伺いました。

門田 私は福祉系の大学を出てすぐ、谷野呉山病院（富山市）という単科精神科病院に入職しましたが、当時の病院は非常に閉鎖的で長期入院が当たり前でした。約40年間、前半は現場の

ソーシャルワーカーとして、後半は事務局長として管理者の立場から「安心して入退院できる病院」を目指し、医療や看護の質向上、社会復帰に向けて欠かせない精神保健福祉士の大量採用などの病院改革に取り組みました。また、市中心部にクリニックを立ち上げ、家族会や当事者



門田さん（左）と川口さん

会、グループホームや作業所など、地域の受け皿づくりにも取り組みました。そして病院が第三者評価機関の最高評価を獲得するまでになったことを確認して定年を迎えました。

その後は自宅のある射水市で悠々暮らそうと思っていました。が、どこから聞きつけたのか「うちの子どうしたらいい？」など家族からの相談電話が相次いでかかってくる。なんとか対応していましたが、地元の精神保健福祉の現状には正直がっかりしました。そして、障害があっても年老いても住み慣れた地域で当たり前に暮らしていくための仕組みづくりが必要だと感じ、2012年に地元のPSW

仲間5人で相談支援を行うNPO法人「むげん」を立ち上げました。現場復帰ですね。

私たちの相談支援はフットワークの軽いのが特徴で、ひきこもりや服薬中断などで自宅から出られない人にも訪問して対応します。現在では相談のほか、地域活動支援センター、就労継続支援B型事業を行っています。スタッフは9名で、精神保健福祉士が5名、社会福祉士と若年性認知症や高齢化に対応する介護福祉士が各1名と専門職の割合が高いです。

施設内・外での就労への取り組み

門田 メンバーの年齢や症状は様々なので、5種類ほどの仕事

を用意して、その人ができるものをやってもらうようにしています。主に内職作業です。その他にハーブ栽培からのハーブティ作り、季節的な作業としては、10月末から3〜4か月かけて、球根からチューリップを育て、350鉢ほど出荷しています。鉢にはラッピングをして、メンバーがイラストを描いたコースターを添えています。これが大好評なんです。



チューリップと手描きメッセージ

施設外作業としては、地域の営農組合と連携して、キャベツなど野菜の収穫の手伝いをして、そのとれたて野菜を「むげん」の駐車場の直売所で販売しています。また、株式会社インテックとの共同事業で行った小松菜栽培では、メンバーが3年間、無遅刻無欠勤だったことが評価され、同社の呉羽梨*栽培にも参加するようになりました。社員証や健康保険証が支給され、やる気も上がっています。

*富山県呉羽地区を中心に栽培された梨のブランド名

活動するメンバーの声

川口 体調を崩して仕事を辞めてから、ずっと家にひきこもつ

ていました。昨年終わり、保健センターから紹介された「ひきこもりの集い」に行つて、理事長やスタッフと出会いました。いろいろ話をして「むげん」に行つてみようと思ひ、通い始めました。今では週5回、朝9時から午後3時まで来ていて、通所の途中で近所の人に挨拶するのが日課になりました。人と話をする機会が増え、困ったこともすぐに相談できます。病院にもきちんと行けるようになったので体調もよくなりました。「むげん」では、最近ハーブづくりに取り組んでいます。最終目的は、仕事の収入で生活できるようになることです。今は内勤作業ですが、施設外の

作業にもチャレンジしたいですね。私の場合、大人になつてから障害がわかつたので、自分の得意なこと不得意なことに向き合つて、生活しやすくしていきたいです。

門田 川口さんは今ではメンバーのリーダー格です。

アフターコロナ

地域との活動再開

門田 私たちは、地域で顔の見える関係づくりをしようと、近隣の4自治会(約170世帯)や町内会、老人クラブ、民生委員、ボランティアなどが参加する「むげんを支える会」を作り、年2回の定例会で行事などの企画を練っています。建物は

もともと縫製工場だったこともあり、とても広いので、地域に開かれた場所として有効活用していきたいと思っています。

コロナ以前は「納涼祭り」や「クリスマス感謝祭」、プロのジャズ奏者を招いた「いい音楽を聴く会」など、毎月のように何かしら実施していましたが、コロナで全て中止になっていたので、まずは今年11月に「いい音楽を聴く会」を食事付きで再開



地域をいろいろ
大きな七夕飾りを作る

しようと話を進めています。また、月数回でもいいから、夜に居酒屋を開いて欲しいという声もあり、検討しているところです。

若い人たちの関わりを増やす

門田 コロナ禍を経て、これまでの支援者が高齢化し、次の世代もボランティアのなり手が少ないのが課題です。そこで今年の6月から始めたのが、学童保育「むげん・さんさん広場」です。普段は週2回、夏休みなど長期休暇中は平日毎日実施して、スタッフや地域ボランティアが宿題のアドバイスなどをしていきます。また、月に1度はお楽しみ企画として、さつまいもを育ててやきいも大会やミニトマトな

どの野菜づくり、七夕飾りなどを予定していて、メンバーと自然な感じで触れ合う機会を作っていく予定です。今後、若い、小学生の親世代との関係づくりができると期待しています。

「むげん」をしなへ

門田 「むげん」での活動も10年を過ぎ、私ももうすぐ喜寿を迎えますので、そろそろ活動を引き継いでくれる人を作っていく必要があると思っています。どんなシナリオでつないでいくか。これまでに地域の皆さんに支えてもらいながらやってきました。これからも皆さんに助けてもらいながらやっていきます。

(取材・編集委員 菅原かほる)



「クロザピン」って何ですか？

八幡厚生病院 薬剤師 柴田木綿

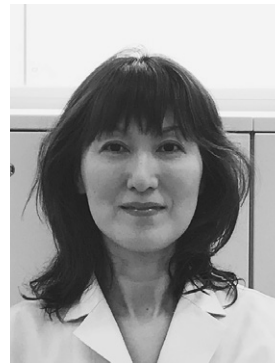
ある日のこと、Aさんの外来診察を終えた主治医から「Aさんのご家族に、クロザピンの説明をしてもらえますか」と依頼がありました。Aさんは独語がなかなかよくならず、ずっと困っています。お母さんにお会いすると、「クロザピンっていう薬があるんですね。今日、初めて知りました。」と。

また、ある日のこと。入院患者のBさんに「クロザピン

て、副作用が怖いんでしょう？」と尋ねられました。Bさんはずっと幻覚に苦しんでいます。これまでさまざま治療を受けてこられました。が、なかなかよくなり入院が長くなっています。主治医にクロザピン治療を勧められましたが、興味はあるものの副作用が心配で治療をうけるかどうか迷っておられます。

私が統合失調症の患者さんや

ご家族にクロザピンという薬の話をするとき、患者さんにとってまだまだ馴染みがなく、副作用を過度に心配するあまり治療の間口を狭めているのではないかと思います。そこで、第3回はクロザピンのお話です。



柴田木綿さん



【かんたん解説】

★クロザピンは治療抵抗性

統合失調症の治療薬です。

統合失調症の患者さんの中には、これまで2種類以上の薬を試したがあまり効果がなかった、足がむずむずする、手足が震えるなどの副作用のために十分に薬を使えなかった、という患者さんがいらつしやいます。このような状態を治療抵抗性統合失調症といい、統合失調症患者さんの約10〜30%にみられます。

治療抵抗性統合失調症の患者さんに唯一効果が認められているのが、クロザピン（商品名ク

ロザリル）です。日本で行われた臨床試験では、治療抵抗性統合失調症患者さんの約60%に精神症状の改善が認められました。国内ではこれまでに16、

865人（2023年7月4日時点）の患者さんが治療を受けています。

★クロザピン治療を

受けるには？

クロザリル患者モニタリングサービスに登録された医療機関でのみ、クロザピン治療を受けることができます。

クロザピンは白血球が少なくなる、血糖値が上がるなどの副作用が起こる可能性があります。特に投与開始から18週間

無顆粒球症むかりゅうまぐうしょうという副作用に注意する必要があります。入院して治療を始めます。副作用の早期発見と対処のため定期的に血液検査を行います。

注：今、おかかりの医療機関がク

ロザリル患者モニタリングサービスに登録されているかどうかは、主治医にお尋ねいただくとわかります。また、クロザリル適正使用委員会ホームページに全国の登録医療機関が掲載されています。

参考：クロザリル適正使用委員会

ホームページ

<https://www.clozaril-teksei.jp/>

クロザピン治療を受けている

患者さんやご家族の声、

スタッフの声

Cさん…度重なる興奮や暴力のため、保護室での治療が長期におよんでいたCさん。クロザピン治療をはじめてから一度も保護室に入ることなく、ほかの患者さんと穏やかに過ごされています。「Cさんが一番よくなりました」と、多くのスタッフはうれしそうに話します。

Dさん…首がつっぱる副作用（ジストニア）で薬の増量が難しくかったDさん。これまで何度か服薬中断されたこともあり、そのたびに妄想や幻聴が激しくなりました。クロザピン

治療をはじめて、副作用や症状が改善し退院されました。「いやなものをまなくてよくなりました。この薬で首のつっぱりがなくなって楽になりました。これをのめば大丈夫という安心感があります。」Dさんの回復にスタッフも「すごくよくなりましたね」「自然な感じですね」と、驚いています。

Eさん…これまで薬を拒否されることが多く再入院を繰り返していたEさん。クロザピン治療を始めて7年がすぎました。家族から独立して単身生活もできるようにになりました。買い物や料理の話など、生活の一コマをいつも楽しそうに話してくれました。

Fさん…いろいろな薬を試したけれど十分な効果がなく、やむを得ず多剤併用大量処方になっていたFさん。退院時にご家族は「始める前は不安でしたけど、やってよかったです」と、大変喜ばれました。

Gさん…妄想が活発だったGさん。ご両親は困り果て、主治医が勧めたクロザピン治療をはじめました。コロナ禍で面会ができなかった頃、ガラスドア越しの患者さんの姿を見て、よくなっていることを確信したご家族は涙ぐみました。このようにいろいろなエピソードがあります。クロザピンは特效薬ではありませんし、副作用により治療が継続できなかった方ももちろ

んいらつしゃいます。でも、重篤な副作用がなく、クロザピンがご自身に合つて「治療をうけてよかつた」という患者さんもたくさんいらつしゃいます。このような声をなかなか知る機会はないと思い、ぜひ、本誌でお伝えしたいと思えました。

薬剤師の視点

クロザピン治療を

受けるかどうか迷つたら……

治療を始める前に、迷う方も少なくありません。主治医からクロザピンを提案され、実際の導入までに1〜2年かかつた方もいらつしゃいます。クロザピンに限らず、薬を使用する前に

は十分説明を聴き、納得して服薬することが望ましいと思えます。特にクロザピンは同意書への記入も必要となるため、説明文書をみながら改まつて説明を聴くと、いつもより緊張されるかもしれません。診察時だけでなくもつと説明を聞きたいという方は、ぜひ薬剤師にもお声掛けください。また、看護師や作業療法士の言葉に背中を押された患者さんもうらつしゃいます。普段から話しやすいスタッフに聞いてみるのもよいと思います。

副作用について理解しておくことはとても大切です。それと同時に期待される効果について知り、治療の選択肢を狭めない

ことも大切だと思います。症状がなかなかよくなりお困りの統合失調症の患者さんとご家族へ、クロザピンは治療の選択肢のひとつです。



福島・伊達精神障がい福祉会



◎各地の家族会の活動をご紹介します。
いきます。

相澤與一（福島県）

この会は、二八年前の一九九五（平成七）年に、県内最初の地域包括的な家族会として、たしか八十数家族の参加で発足し、一時は会員が百四十数家族、賛助会員十人程度になったのですが、親の高齢化などもあって徐々に減少し、いまは百三十数家族になっています。

そして、これもお決まりの経過なのですが、作業所を併設する家族会から法人の施設活動が家族会活動を併設するものに移ってきました。その移行の画期は、NPO法人となった二〇〇二（平成十四）年です。

法人施設事業が中心になると、どうしても家族会活動が衰え、あるいは消滅する場合さえ

多いので、私は、家族会活動に施設活動を上乗せする態勢を維持するために、原則として施設を利用する家族は家族会会員になることを提案して、総会で決めていただきました。

しかし、やはりこの原則は崩れつつあります。なぜそうなるかという、家族の側に、当事者を施設に預けて家族は休みたいという、当然の動機が働くからです。このように障がい者だけでなく、その家族の難儀も大変なのです。

だからこそ、さまざまな形の家族丸ごとの支援が必要なのです。この必要は、家族会活動への継続的な引力にもなっています。その引力とは、慢性的な

本人と家族の大きな難儀のために、家族会活動に参加し続けて、家族仲間と難儀を共有し励ましあい助言しあう必要です。この必要は、多くの未加入の家族にも働いているわけで、だからいまでもぼつぼつと、入会者が続いているのです。

予算不足などによる困難

我々は、できることは家族の自助でやりますし、家族会活動などによって共助できることは引き受けます。しかし、逆境の主因である福祉活動の予算不足による困難はまったく政治の責任ですので、障がい者福祉などさつぱりの今の政治を変えていただくしかありません。



最近では予算不足とコロナの影響も加わって、かつて極めて盛んだった職員ぐるみの家族会による Social Action が衰えまして。だから、近頃マスコミを介して広く地域に潜在しているは

ずの当事者家族に働きかける力も弱くなっています。これを反省し、是正しなければならぬと考えます。

「これでも」頑張っています

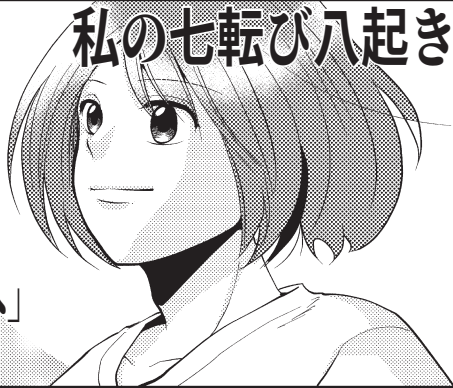
それでも我々の口コミや行政機関による紹介などを通じて、「お茶のまね会」（＝「一緒にお茶しましょうの会」）や家族教室などに新規に加わる家族もぼつぼつあり、また家族相談の需要もあつて、これらの要因が家族会を支えているのです。

困難でも、一緒に頑張りますよ。

連絡先はこちら

024-563-7680

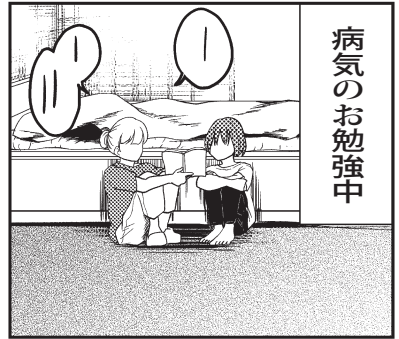
私の七転び八起き

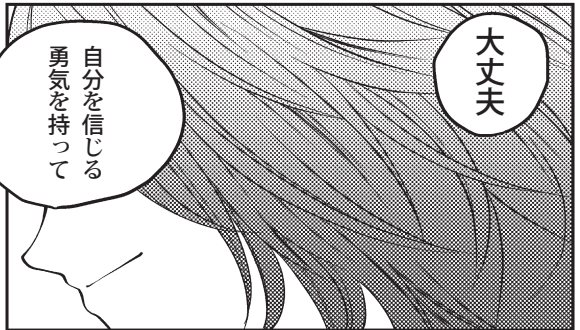
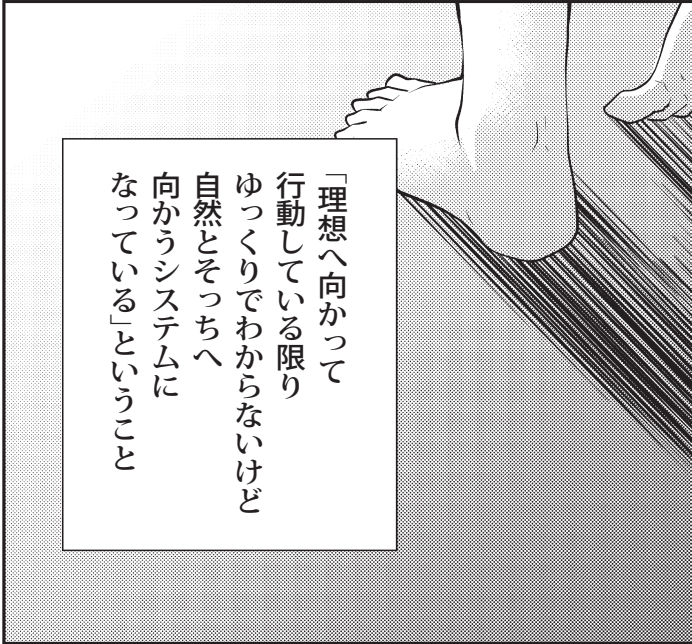
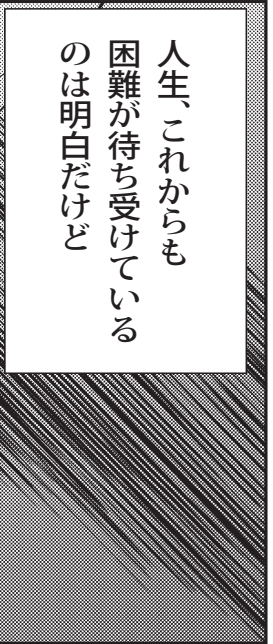
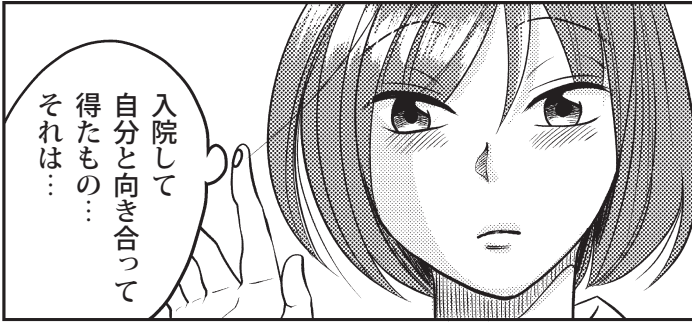
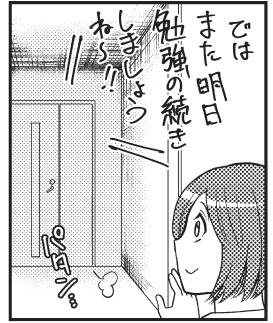


入院して一か月
PTSDと非定型うつ
の25歳です。

「未来へ」

あかつき





あかつきさん、一年間の連載をありがとうございました。あかつきさんの漫画は電子書籍でも読めます。(編集部)

お知らせします みんなねつとの活動

■都道府県連合会への訪問支援

2023年度事業計画に基づき、希望する県連「北海道、山形、茨城、神奈川、福井、富山、山梨、岐阜、奈良、兵庫、高知、徳島、大分、長崎、(山口)」にみんなねつと事務局からの訪問がはじまっています。

ここ数年のコロナ禍でオンラインの利便性は得られましたが、家族会本来の存在意義が制限されている側面もあります。

オンライン化が困難な家族会は弱体化したり、交流機会を持ってない家族は地域で孤立する懸

みんなねつと事務局の動き

7月4日(火)	みんなねつとサロン整備打合せ 大塚製薬市民公開講座振り返り
7月5日(水)	市町村における精神保健に係る相談支援体制整備の推進に関する検討チーム(第2回)
7月6日(木)	株式会社エル・ティー・エス コンサルティング来訪
7月10日(月)	第2回改正差別解消法の施行に向けた意見交換会
7月11日(火)	JDF政策委員会 代表理事会
7月13日(木)	徳島県連訪問
7月14日(金)	住友ファーマヒヤリング
7月14~15日	北海道連訪問
7月16日(日)	「非自発入院に関する実態調査」に関するMTG
7月18日(火)	富山県連訪問
7月19日(水)	JDF幹事会 アーカイブ構想相談
7月20日(木)	厚労省職業安定局 信任異動あいさつ来訪 代表理事会
7月21~22日	第20回日本うつ病学会
7月24日(月)	編集委員会
7月25日(火)	メディアガイドライン作成会議(第4回)
7月26日(水)	改正旅館業法の施行に向けた関係団体への意見聴取
7月27日(木)	茨城県連訪問
	高知県連訪問
7月28日(金)	事前説明第3回市町村における精神保健に係る相談支援体制整備の推進に関する検討チーム

念も出ています。訪問することで、各都道府県連合会の現状を具体的に把握します。

時代に合わせた対応をするため、連携をスムーズにした活動

を広げ、リアルにつながる場の提供、新しい家族が家族会にながらやすい仕組みづくりを一緒に検討していきたいと考えています。

みんなねっと埼玉大会 Peatix お申し込み方法 ①

① イベントページから申し込み



Peatix イベント検索 ログイン | 新規登録

みんなねっと
第15回全国精神保健福祉家族大会
みんなねっと埼玉大会
家族まかせにしない社会に
精神障害者への誤解・偏見を超えて、家族任せにせずに当事者・家族が当たり前に生きていける地域社会を目指し、具体的な実践を通して参加者と共に考える場としたい。

10月14日(土)~15日(日)
Rai Boc Hall(市民会館おみや)
さいたま市大宮区大門町2-118 大宮門前4-8F
(大宮駅東口下車・徒歩3分)

主催：(公社)全国精神保健福祉者協会(みんなねっと) 埼玉県精神障害者家族会連合会(のぞみ会)

10月14日 第15回全国精神保健福祉家族大会 ~2023 みんなねっと埼玉大会~
[出]10:00(2日同時) | さいたま市大宮区大門町2丁目118 大宮門前4-8階 | by 増家達

ライブデザイン/生きた コミュニティ 生きた 暮らし

精神障害者への誤解・偏見を超えて、家族任せにせずに当事者・家族が当たり前に生きていける地域社会

*コンビニ/ATMでの振込は、2023/10/13まで受付されます。

チケット

チケットを申し込む

② チケット選択



Peatix イベント検索 ログイン | 新規登録

チケット選択
第15回全国精神保健福祉家族大会 ~2023 みんなねっと埼玉大会~

オンラインのみ参加	¥3,000
会場参加【第19分科会希望】	¥3,000
会場参加【第29分科会希望】	¥3,000
会場参加【第39分科会希望】	¥3,000
会場参加【第49分科会希望】	¥3,000
講習者・学生専用【会場参加・オンライン両方ごらんのチケットで】	¥1,000

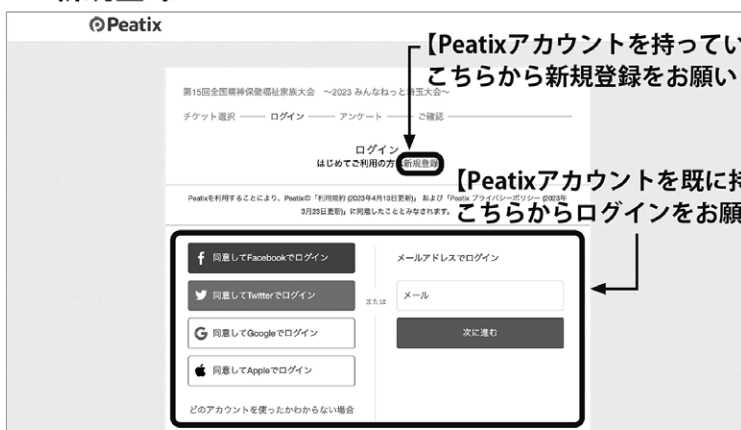
合計 ¥0

ログインへ進む

① チケットを選択してください。
※一人一枚でお願いします。

② チケットを選択したら
ログインに進みます。

③ ログイン or 新規登録



Peatix

第15回全国精神保健福祉家族大会 ~2023 みんなねっと埼玉大会~

チケット選択 ログイン アカウント ご確認

ログイン
はじめてご利用の方 **新規登録**

【Peatixアカウントを持っていない方】
こちらから新規登録をお願いします。(④へ)

【Peatixアカウントを既に持っている方】
こちらからログインをお願いします。(⑤へ)

Peatixを利用することにより、Peatixの「利用規約(2023年4月13日更新)」および「Peatixプライバシーポリシー(2023年3月29日更新)」に同意したものとみなされます。

同意してFacebookでログイン
同意してTwitterでログイン
同意してGoogleでログイン
同意してAppleでログイン

メールアドレスでログイン
または メール
次に進む

どのアカウントを渡ったかわからない場合

みんなねっと埼玉大会 Peatix お申し込み方法 ②

④ アカウントの新規作成(アカウントをお持ちの方は不要です。)

以下3点の入力をお願いします。
入力後「同意して新規作成」をクリックします。

⑤ 主催者からの事前アンケート

①お名前と電話番号を入力してください。
(メールアドレスは入力されています。)

②「請求先情報へ進む」をクリックします。

⑥ クレジットカードでのお支払い方法(請求先情報)(コンビニ/ATM払いの方は⑧へ)

①クレジットカード情報を入力してください。

②「次に進む」をクリックします。

みんなねっと埼玉大会 Peatix お申し込み方法 ③

7 クレジットカードでのお支払い方法(ご確認)

①お名前をカタカナで入力してください。

②「今すぐ支払う」をクリックするとチケット購入完了です。

申し込みが完了したらメールアドレスに確認メールが届きますので保管をお願いします。

8 コンビニ/ATMでのお支払い方法(請求先情報)

①電話番号を入力してください。

②「確認画面へ進む」をクリックします。

9 コンビニ/ATMでのお支払い方法(ご確認)

①お名前をカタカナで入力してください。

②「お申し込みを確定する」をクリックすると申し込み完了です。

③こちらに記載の期限までにお支払いを完了させてください。

申し込みが完了したらメールアドレスに確認メールが届きますので保管をお願いします。

■7月から各都道府県家族会連合会を訪問し、家族会の皆さんからお話を伺っています。ひと月で徳島県、北海道、茨城県、高知県と訪問しました。「今までみんなねっとって遠い存在だったけど、身近になったわ」という声が多く、「訪問」の意義を実感しました。高齢化や会員数の減少といった課題はありますが、あつまつて語り合う家族会ってやっぱりいいな、と元気をもらって帰ってくるのです。(高村)

■たつた3人のRethink訪問に対し十分な準備と手配がなされたのは、みんなねっと関係者が多数Teamsで参加したことへの配慮だったと思います。40年前は十分な支援が受けられず、偏見にさらされていた。イギリスの家族が、今の日本の実情を我が事として受け止め、大いに共感し励ましてくれたことが印象的でした。早期介入と十分な危機への対応が最優先であると確信して、医療改革を進める運動に参加し続けようと改めて決意しました。(飯塚)

■今号からみんなねっとの制作に参加させていただくことになりました。本誌の記事にも編集会議の熱心な論議にも、「共有」と「共感」の広場としてのみんなねっとの意義の深さをあらためて実感しています。みなさんの思いを載せた誌面作りに励む所存です。どうぞよろしく願います。酷暑、豪雨、それに伴う災害、厳しい夏です。どうぞご自愛ください。(松坂)

【交流サイトを開設】インターネット上で、家族同士が交流できるサイト「みんなねっとサロン」を開設しました。withコロナの時代の新しい家族会活動の一つです。パソコンだけでなく、スマートフォンでも見やすくなっています。下記にアクセスしてください。https://minnanet-salon.net/



月刊 **みんなねっと** 通巻第198号(2023年9月号)

定価 300円

発行日 2023年9月1日

賛助会費(会費に購読料含む)

発行者 公益社団法人全国精神保健福祉会連合会

個別・年間 3600円

理事長 岡田久美子

複数・年間(お問い合わせください)

〒167-0054 東京都杉並区松庵3丁目13番12号

TEL03-5941-6345 FAX03-5941-6347

ホームページ www.seishinhoken.jp

郵便振替 00130-0-338317 加入者名 みんなねっと

印刷・製本/倉敷印刷株式会社 表紙のデザイン/NPO法人ぷるすあるは

第1日目全体会 10月14日(土) 7階小ホール

- 10:00 オンライン接続開始
- 10:30 オープニングコンサート
トイピアノ演奏 「統合失調症の兄とトイピアノ」 音旅舎 畑 奉枝氏
- 11:30 開会式
主催者挨拶:来賓挨拶
- 11:50 行政報告:厚生労働省
- 13:00 基調講演 「ケアラー支援をすすめる社会に」～法制化・条例化・施策化・地域づくり～
講師:日本ケアラー連盟代表理事 堀越 栄子氏
- 14:35 活動報告:全国精神保健福祉会連合会理事長 岡田 久実子氏
- 14:50 特別講演 「障害者権利条約と家族支援」
講師:やどかりの里理事長・日本障害者協議会常任理事 増田 一世氏
- 15:50 大会宣言、次回大会開催地の紹介
- 16:00 1日目散会

第2日目分科会 10月15日(日) 小ホール(7階)・集会室1・集会室8・集会室9(6階)

9:30 受付開始 10:00～12:00 各分科会

第1分科会

テーマ「ケアの脱家族化を考える」
～本人と家族双方の自己実現をめざして～

第2分科会

テーマ「精神保健福祉手帳2級所持者まで福祉医療の対象に」
～重度心身障害者医療費助成制度の対象拡大にどう取り組むか～

第3分科会

テーマ「自立の多様性を考える」
～就労だけが自立じゃない。自分の力で歩むプロセス～

第4分科会

テーマ「これからの家族会」
～工夫し活動するさまざまな家族会から学ぶ～

12:15～12:35 小ホールにて各分科会の内容報告
閉会

主催

(公社)全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)
埼玉県精神障害者家族会連合会(のぞみ会)



第15回全国精神保健福祉家族大会 みんなねっと 埼玉大会

家族まかせにしない社会に

日時 2023年10月14日(土)～15日(日)

会場 Rai Boc Hall(市民会館おおみや)
さいたま市大宮区大門町2-118大宮門街4-8F

精神障害者への誤解・偏見を超えて、家族まかせにせず
当事者・家族が当たり前で生きていける地域社会を目指し、
具体的な実践を通して参加者と共に考える場としたい。

参加申し込み及び支払い方法について

参加申し込みは原則『Peatix(ピーティックス)』で7月15日から受け付けます。
オンラインのみ参加で申しこまれた方には大会誌のデータを配信いたします。

※全体会、分科会の参加は事前登録制です。
会場の都合で分科会は希望に添えないこともありますので、早めの申し込みをお願いします。

参加方法	参加費	申込方法	支払方法
会場参加 (締切:9/1)	3000円(家族・一般) 1000円(当事者・学生)	Peatixサイトから	クレジットカード または、Peatixが指定する支払方法 (コンビニ決済など)
オンラインのみ (締切:10/5)	同上	Peatixサイトから	クレジットカード または、Peatixが指定する支払方法 (コンビニ決済など)

埼玉連

<https://saikaren.amebaownd.com>

オンライン参加申込サイト

<https://saikarenminnanet.peatix.com>

オンラインで参加される方へのご注意

- ・当日ライブでの配信は初日の全体会のみです。
(全体会・分科会とも10月25日よりアーカイブ配信でご覧になれます)
- ・参加費の支払は『Peatix(ピーティックス)』からお願いします。

QRコード



お問い合わせ

埼玉連

048-825-7172 (火～金10:00～16:00)

お申込み (Peatix)手順は 37 ～ 39 ページもご参照ください